

SDGsを原動力とした地方創生

村上 周三

東京大学 名誉教授

(内閣府) 環境未来都市構想 推進委員会 座長

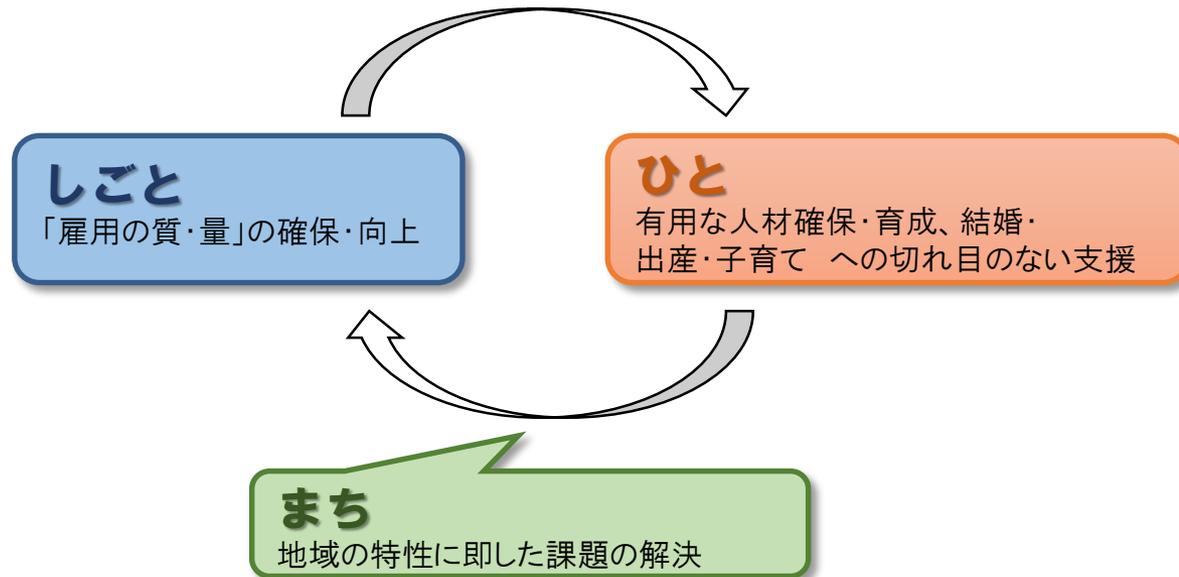
(内閣府) 自治体SDGs推進評価・調査検討会 座長

1. 地方創生とSDGs

2. 自治体SDGsの実践

⇒ いかにして自治体へのSDGs導入を円滑に進めるか

「まち・ひと・しごと創生法」と SDGs



- ・ 「しごと」があれば「ひと」が集まり、「まち」が活性化
- ・ まちに魅力がなければ、人も企業も去ってしまう

SDGsによる自律的好循環の構築

「SDGsアクションプラン2019」における3つの柱

SDG推進本部（第4回会合、2018.12）

（企業）

1. SDGsと連動する「Society 5.0」の推進

- 破壊的イノベーションを通じた「Society 5.0」や、「生産性革命」を実現
- 経団連「企業行動憲章」の改定を支持し、民間企業の取組をさらに後押し

（自治体）

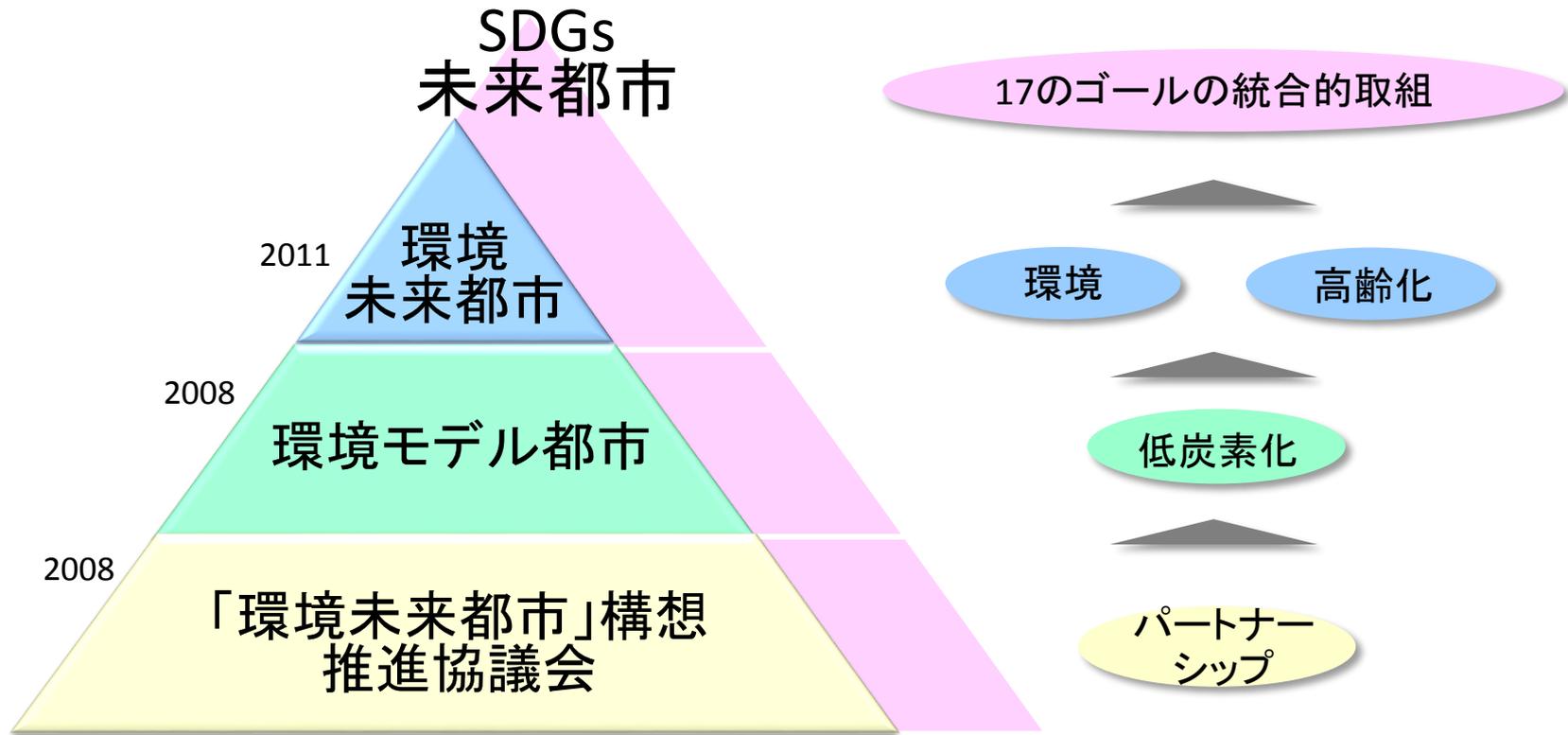
2. SDGsを原動力とした地方創生

- 地方創生や、強靱で環境に優しいまちづくりを実現
- 「SDGs未来都市事業」を推進
先進的モデルとなる自治体を支援

（若者・女性）

3. 次世代・女性のエンパワーメント

- 次世代や、SDGsの目標でもある女性をエンパワーメント
- 「働き方改革」、「女性の活躍推進」、「人づくり改革」などを着実に実施



⇒ “環境未来都市”構想のねらい

- ・ 環境価値、社会的価値、経済的価値の創出

⇒ SDGs と “環境未来都市”構想の親和性

「SDGs未来都市」推進の枠組

1. SDGs未来都市 (約30の選定)

SDGsの導入・推進 のための優れた取組

- ・ SDGsの理解
- ・ 取組体制
- ・ 目標と指標の設定
- ・ アクションプログラム
- ・ フォローアップ 等

2. 自治体SDGsモデル事業 (約10の選定)

持続可能な開発に向けた 統合的取組の推進

- ・ 経済・社会・環境の
3側面のバランス
- ・ 自律的好循環の構築

成功事例の普及展開

SDGsの達成

⇒ 3年間継続(予定)

⇒ 全国自治体の30%にSDGsの導入を目指す

選定されたSDGs未来都市 (2018.6)

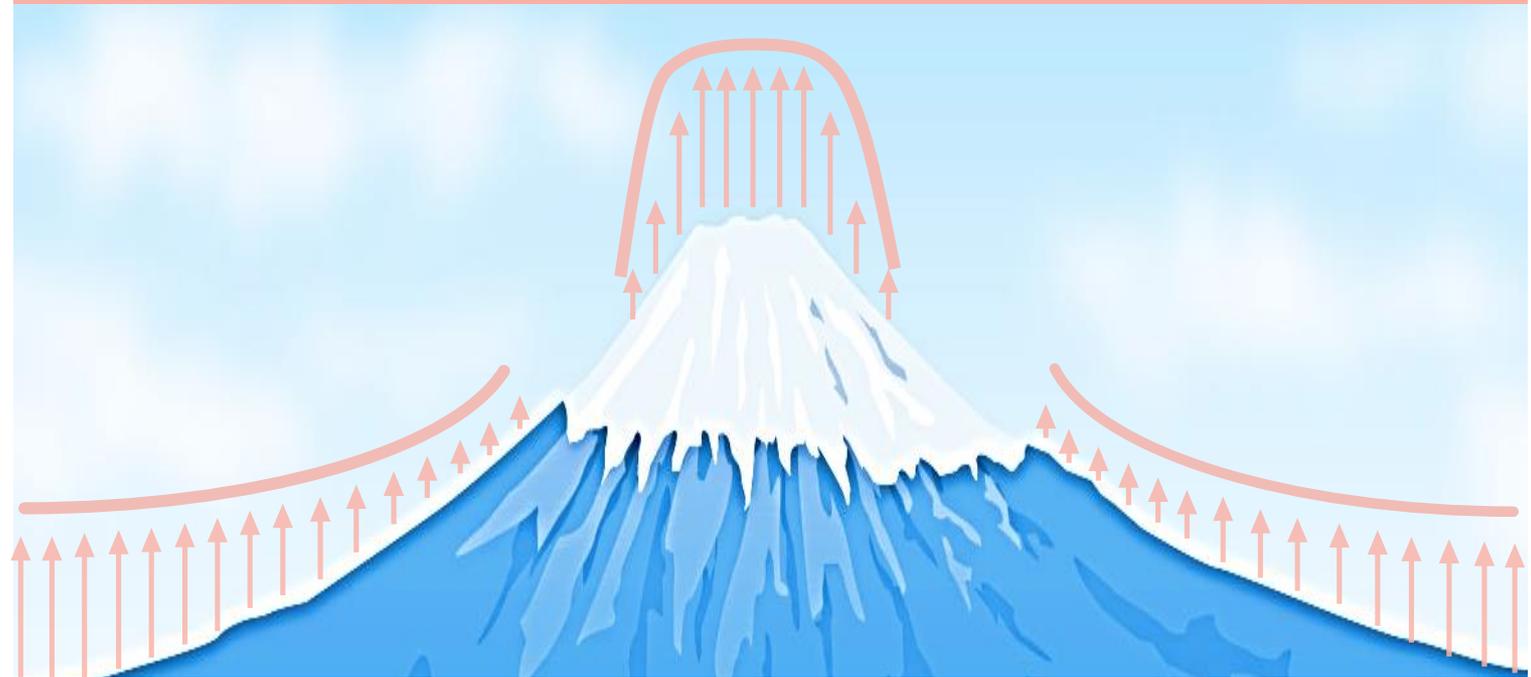
青字 : SDGs未来都市 (29都市)

緑字 : 29都市の中で、自治体SDGsモデル事業に選ばれた都市 (10都市)



SDGs未来都市構想のねらい： ①ピークを高くし、②裾野を底上げする

① ピークを高くする ⇨ 優良自治体の政府による認定



② 裾野の底上げ ⇨ ベストプラクティスの発信とパートナーシップ

⇨ いかにして裾野の底上げを図るか？

⇨ いかにしてSDGsの円滑な導入を進めるか？

SDGsの円滑な導入の方策は？

- SDGsの理解の促進
- 政府・自治体による
制度整備
- 自治体・民間団体による
ガイドラインの提供 等



ガイドラインの事例



なぜガイドラインが必要か？

1. 2030アジェンダ：“我々の社会を変革する”

⇒ SDGsは持続可能な社会構築に向けた意欲的、野心的な目標群（ゴール・ターゲット）

2. SDGs自体は単に目標を並べたもの

⇒ そこに自治体活性化のシナリオが示されているわけではない

3. SDGsの目標群に基づいて自治体活性化のシナリオを描く方法の提示の必要性

⇒ ガイドラインの作成

4. 多すぎる目標群

⇒ これらの目標群を編集して、利用可能なシナリオを作り出す必要

5. 如何にして編集するか？

⇒ 経済・社会・環境の3つの柱に基づく統合的取組

ガイドラインのねらい：統合的取組の推進

1. SDGsの特徴：統合性 (Indivisible Whole)

- ・ 持続可能な開発は個別的取組では達成不可能
⇒ 経済・社会・環境 のバランスに配慮
- ・ 目標群を個別に取り扱うのではなく、
相互の関連に留意した一体的取り扱い

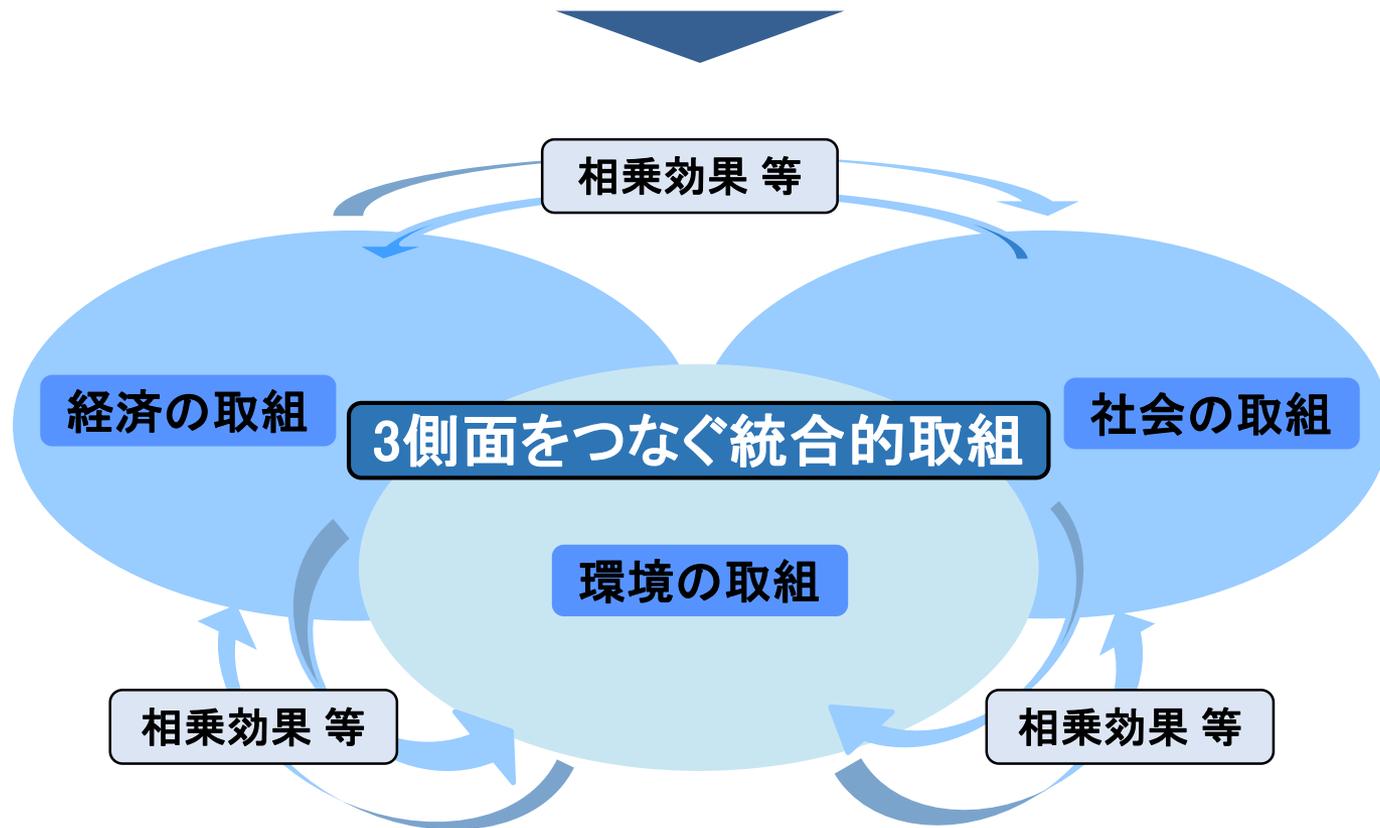
2. 3つの柱(経済、社会、環境)による目標群の整理と統合

- ・ まず、3つの柱によるグルーピング：グループ内での取組
- ・ 次にグループ間をつなぐ統合的取組

3. 統合的取組のメリット

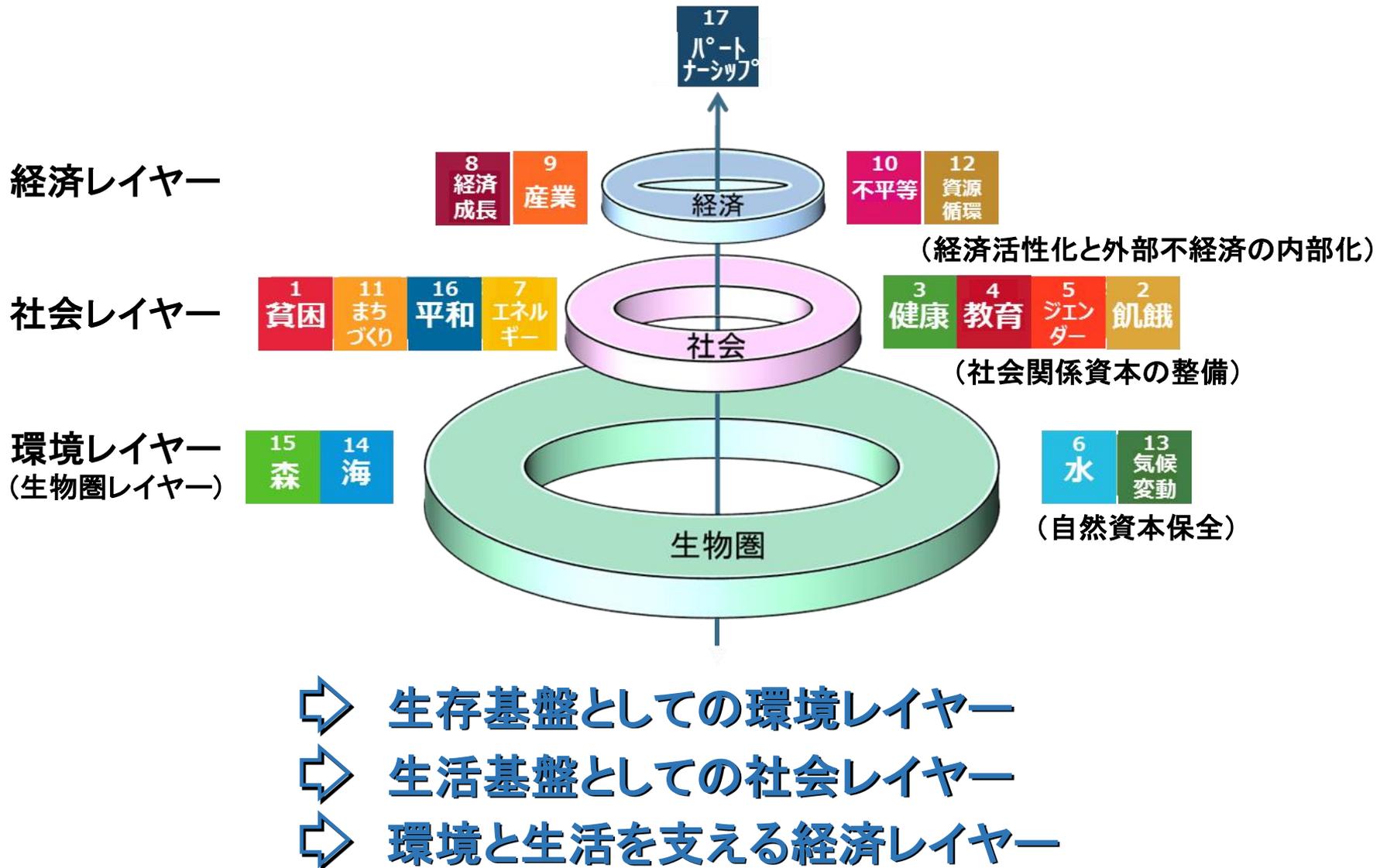
- ・ 取組むべき課題全体の俯瞰的認識：課題間の相関性の把握
- ・ 部分最適から全体最適へ
- ・ トレードオフの緩和
- ・ シナジー効果の追求 等

SDGsにおける統合的取組



⇒ 持続可能な開発における
経済・社会・環境のバランスの必要性

統合化のシナリオの事例：SDGsウェディングケーキ*1



* 1: SDGs “wedding cake” illustration presented by Johan Rockström and Pavan Sukhdev 13

SDGsの導入計画とローカライズ

1. 独自性の反映

⇒ SDGsの導入計画は、
策定主体の独自性を反映したものでなくてはならない

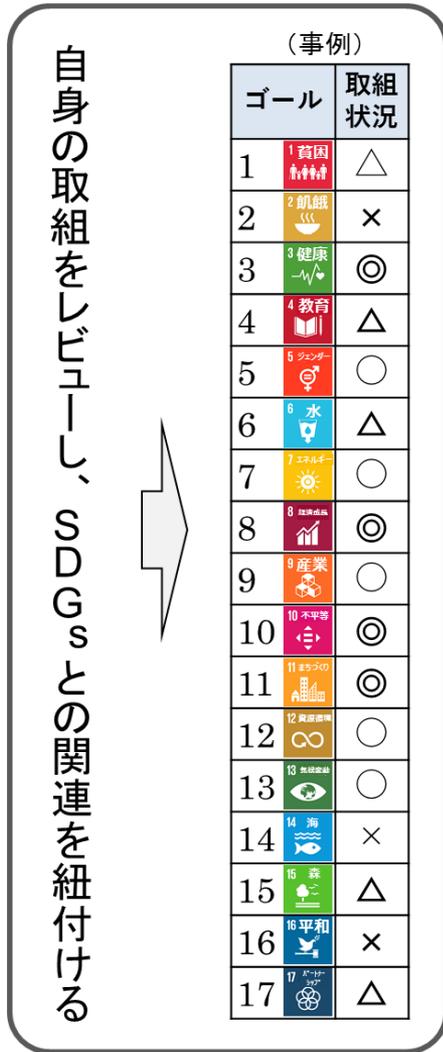
2. 実現可能性と選択

⇒ グローバルな基準として示されている
目標群(ゴール、ターゲット)を精査して、
自身の組織に必要な性の高いものを選択する

3. ローカライズ

⇒ 選択された目標群を、自治体の事情を反映した
固有の政策目標として新たな位置づけを行う

ガイドラインの枠組み：ゴールのマッピングと目標設定



(後づけマッピング)

2030年を展望した取り組みべきビジョン
(2030アジェンダ)



(先づけマッピング)